

研修履歴

弘義さん

- 2008.09. 新農業人フェア（東京）で相談
- 10. 新農業人フェア（札幌）で相談
- 10. 短期農業体験（30日間）
- 2009.04. 長期農業体験（8ヶ月）
- 2010.04. 鶴川研修農場で実践研修（7ヶ月）
- 11. 独立就農（就農時46歳）

美樹さん

- 2009.04. 長期農業体験（1年6ヶ月）
- 2010.11. 独立就農（就農時42歳）

おがさわら ひろよし
小笠原 弘義さん



「年間を通して出来る農業の町、
というのが決め手だったかな」

経営規模

農地 1.55ha
 施設 ビニールハウス 100坪×12棟
 作物 トマト・春レタス
 農業従事者 本人、妻（美樹さん）

住宅

中古の農家住宅を購入
 圃場から約2km



むかわ町では新規就農第一人者となる小笠原さんご夫妻。
 27年過ごした神奈川県を離れ、むかわ町へ移住して今年で6年目となった。
 前職では家電メーカーの新製品開発試作品の部品加工を担当する技術者であり、27年勤めていた会社を早期退職。
 ■長年勤めていた会社を辞め、農業を始めようとした理由は何だったのでしょうか？
 弘義さん「元々は今までの仕事と似たような仕事をするのを考えていた。仕事を辞めたとき、農業は選択になかったけど、自分で経営したい気持ちはあるって、いろいろ調べていくうちに農業にたどり着いた。」
 ■たくさんの市町村が集まる中から、なぜむかわ町に決められたのでしょうか？
 美樹さん「私はむかわ町の人たちの歓



迎ムードも嬉しかったし、みんなの明るさがいいなと思っていただけで、旦那は他の町と迷っていたんだよね（笑）
 結局、むかわ町関係者の熱意と、年間を通して出来る農業の町、というのが決め手だったかな。
 弘義さん「（むかわ町は）自由に作物をつくっている感じもした。」
 まずは弘義さん単身で、30日間の短期農業体験を行うためむかわ町へ。
 弘義さん「主にカボチャみがき、ワラ立での作業をして、ひざを痛めたけど農作業は楽しかった。」
 翌年（平成21年）、美樹さんも仕事を辞めてむかわ町へお引っ越し。
 弘義さんと美樹さんは別々の農家さんで長期農業体験を行った。
 長期体験修了後、むかわ町では当時完成したばかりの実践型研修農場にて7ヶ月間の農業体験を経て、独立。

■むかわ町では初めての新規就農者である小笠原さんご夫妻ですが、どのようなところで苦労されたでしょうか？
 弘義さん「研修農場で多くのことを学んだ。新農地を決めて実際に営農すると、土地の癖などがわかるのに3年掛かった。」
 ■苦労を重ねながらも売り上げは年々上昇しており、独立就農して4年後には、収量と秀品率の高さを評価する、トマト部会にて2位に表彰されましたよね。
 美樹さん「売上げうんぬんよりも、自分たちで育ててきたトマトが評価されたことが嬉しかった。」
 ■新規就農を考えている方々にメッセージをお願いします。
 弘義さん「一年を通して農業が出来るのは、北海道の中では数が少ない。雪が比較的少ない、むかわ町の特徴である通年型栽培の他にも、部会や地域の人たちのサポートもしっかりしているんで、一度むかわ町に来てみて、農業体験をしてみてください。」



弘義さん、美樹さんは、今までに何人もの農業体験者を受け入れ、農業指導もされており、弘義さんは本年度から新規就農者受入協議会副会長を務めている。